

国土地理院は31日まで、外国人向けの地図記号15種類を公表した。

「H」を○で囲んだ記号で示すことの多いホテルはベッドのデザインにするなど、訪日外国人も見えやすく分かるようにしたのが特徴。今後、自治体や民間地図会社採用を働き掛ける。従来の地図記号も併存する。

地図記号に国際的な基準はない。日本人にはなじみ深くて外国人に分かりにくい場合があり、

ホテルはベッドで表示

百貨店は買い物カート

地図記号、外国人向け公表 国土地理院

1月にまとめた報告書に基づき、郵便局など5種やATMなど6種類は新し。4種は従来の記号を踏襲した。

病院は「+」をホームベース型の五角形で囲んだ記号だったが、教会や墓と間違えやすいとして、建物のイラストで囲むようにした。これまではなかったコンビニエンスストアは、サンドイッチと飲み物で表現した。地名や施設名の英語表記ルールも決定。「山」

外国人向けの主な地図記号

※国土地理院のHPによる

従来の日本の地図記号

交番		X
教会		+
病院		+
銀行 ATM		
ショッピングセンター 百貨店		
コンビニエンスストア スーパーマーケット		
ホテル		H

「山」力発電用風車」以来。